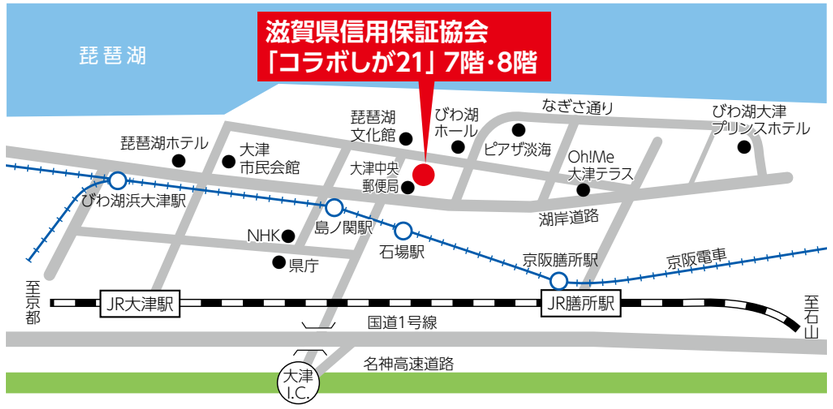


アクセスのご案内

JR琵琶湖線	大津駅より徒歩	約20分
	京阪バス「商工会議所前」下車	約２分
	膳所駅より徒歩	約15分
	膳所駅より京阪電車のりかえ石場駅より徒歩	約４分

	部署名		直通電話番号	FAX	業務担当区分
7階	保証部	保証第１課	077-511-1321	077-524-7030	保証申込受付・保証審査調査・金融相談・創業支援・事業承継支援
		保証第２課	077-511-1322		
		創業支援室	077-511-1320		創業申込審査・創業支援・創業相談
		経営相談チーム	077-511-1321		経営相談・経営支援・事業承継支援
		事務統括課	077-511-1325		保証・契約・担保等事務管理
	経営支援部		077-511-1323		経営支援・再生支援・事業承継支援
	管理部	管理課	077-511-1330		求償債権管理・回収
		調整課	077-511-1340		延滞債務管理・代位弁済
8階	総務企画部	総務課	077-511-1300	077-521-2189	人事・庶務・経理
		企画デジタル課	077-511-1310		保証業務企画・推進・広報・デジタル化推進等諸計画進行管理
		システム課	077-511-1315		電算システム企画・運用・管理・デジタル技術の情報収集活用等

〒520-0806 大津市打出浜2-1「コラボしが21」7階・8階
TEL 077-511-1300（代表）
https：//www.cgc-shiga.or.jp 滋賀県信用保証協会 検索

きっかけは、その保証でありたい
滋賀県信用保証協会

信用保証レポート 2024年 冬号（令和6年1月発行）
表紙写真：スターブライド株式会社（巻末記事掲載企業）
●発行／滋賀県信用保証協会　●企画・編集／滋賀県信用保証協会総務企画部企画デジタル課
当協会では広報の充実を図るために皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

信用保証レポート
2024 WINTER

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF SHIGA-KEN

1 経営理念・理事長年頭挨拶
3 湖国で輝く企業を訪ねて ー博善社印刷株式会社ー
5 Data 令和5年度第3四半期保証概況・グラフ
7 Information
15 アナタのお店を紹介します！
17 中小企業診断士に学ぶ！DX講座
18 滋賀県産業支援プラザからのお知らせ
19 ミライリポート～ SDGs企業に学ぶ～ ー株式会社日映志賀ー
21 滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターからのお知らせ
23 商工会からのお知らせ
24 選ばれる企業は、はじめてる SDGsをビジネスに ースターブライド株式会社ー

中小企業の皆さまに役立つ情報をお届けします
公式LINEで随時配信中!!
ぜひ、友だち登録をお願いします！
LINE ID @cgc-shiga

きっかけは、その保証でありたい
滋賀県信用保証協会

経営理念

中小企業経営の安定化

1．　滋賀県信用保証協会は、協会が定める執務指針「公平、懇切、正確、迅速」をもって、中小企業・小規模事業者の経営の安定化を図るため、適時性の高い信用保証の供与と経営課題の解決にむけた支援を積極的に行い、地域産業の振興と発展につくします。

健全経営の確立

2．　滋賀県信用保証協会は、業務を遂行するにあたり関係法令および諸規定を遵守し、役職員協調のもと互いに研鑽に励み、健全経営を貫きます。

公的機関として持続可能な地域社会実現への貢献

3．　滋賀県信用保証協会は、関係機関とのパートナーシップのもと、中小企業・小規模事業者の企業価値の向上に貢献するとともに、「経済課題」「社会課題」「環境課題」の解決に取り組み、持続可能な地域社会の実現を目指します。

2024年
年頭のご挨拶

理事長
西嶋　栄治

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当協会をご利用いただき、また、当協会の業務運営に格段のご支援ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本の野球界にとって非常に素晴らしい年となりました。まず、侍ジャパンがWBCで世界一に輝き、国中に大きな喜びと誇りをもたらしました。プロ野球においては、セ・リーグとパ・リーグの両リーグで関西チームが優勝を果たし、特に阪神タイガースの38年ぶりの優勝は関西地域全体を大いに沸かせました。この歓喜のエネルギーは地域経済にも大きな影響を与え、スポーツの力が地域の活性化に大きく貢献したこと非常に喜ばしく思います。

こういった中、国内景気は緩やかに回復しており、昨年11月2日に公表された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を通じて、持続的な賃上げや活発な投資がけん引する成長型経済への変革が期待されているところです。

一方で、新型コロナウイルス感染症対応資金の返済が本格化する中、長引く物価高騰や人材不足といった影響により、中小企業・小規模事業者にとっては依然として厳しい経営環境が続いています。引き続き、「伴走支援型特別保証」を活用した借換等による資金繰り改善支援や当協会を起点としたプッシュ型支援で持続可能な企業経営に向けた収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合支援を金融機関や中小企業支援機関と連携して進めてまいります。

また、経営者保証に依存しない保証への取り組みについても経営者保証を不要とする保証制度の推進を行うとともに「財務要件型無保証人保証割引制度」の創設や経営者保証ガイドラインを活用した事業再生等、経営者保証人に依存しない融資慣行の確立に向けた取り組みを進めているところです。

さて、令和6年は4月から新しい中期事業計画がスタートします。現在、若手職員を含めたプロジェクトチームを立ち上げ、将来の信用保証協会のあるべき姿からその実現に向けた計画を練っているところです。新しい中期事業計画では、職員全員がやりがいを持って安心していきいきと働き、成長を実感できる職場環境をつくり、中小企業の皆さまの経営課題解決のために一歩前に出た支援を積極的に行い、真に求められる金融支援・経営支援を実現いたします。さらに、職員ひとりひとりが主体的に自ら考え行動し、経済・社会・環境課題の解決に取り組み、持続可能な地域経済の発展に貢献してまいります。

令和6年も皆さまには引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって良き年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

湖国で輝く企業を訪ねて

博善社（はくぜんしゃ）印刷株式会社

DATA

本　社／滋賀県守山市播磨田町38-4
創　業／1928年
従業員／21名
事業内容／印刷・WEB・デザイン・企画・販売

代表取締役社長
佐々木（ささき） 美鈴（みすず） 氏

Message

地域や環境に貢献し、お客様、従業員、世間を「三方笑顔」に

お客様が漠然と抱いておられるイメージをかたちにするお手伝いをし、真っ白の紙から色のついたものを創り出していくのが私たちの役割です。SDGsにも取り組んでおり、人や環境に配慮したさまざまなエシカルペーパーをご提案するほか、印刷時に出る端紙を廃棄せず、保育園やご来店くださったお客様にお渡しをして工作に活用いただいています。本来であれば処分をしてしまう複写伝票の切れ端を「複写できるメモ用紙」としてお使いいただいております。お客様から思いもよらないアイデアをお教えいただくこともあるのが面白いところです。地域貢献にも取り組み、これからも「三方笑顔」を実現していきたいと思っています。

Corporate policy

- ●小ロットにも対応し、顧客に寄り添って相談を受けられる窓口になる。
- ●紙の可能性を追求し、メーカーとなって商品を開発する。
- ●売り手笑顔、買い手笑顔、世間笑顔の「三方笑顔」をめざす。

ペーパーレスの時代に伝えたい“紙のぬくもり”

印刷に留まらないオリジナル商品の開発・販売へ

100年続く企業の4代目として

情報のデジタル化によりビジネスや暮らしのなかでペーパーレス化が進み、紙媒体を取り扱う印刷業界では生き残りをかけた事業方針の模索が始まっています。そのなかで自社オリジナルアイテムのブランド開発などで注目を集めているのが、守山市にある博善社印刷株式会社です。

創業はいまからおよそ100年前の1928年、初代・佐々木清一郎氏が達筆だったことから筆耕を請け負うようになり、やがて活版印刷を始めました。地元企業の名刺や封筒、案内ハガキ、チラシなどの印刷で業績を伸ばし、90年代には3代目で現会長の博氏がデザイン事業を充実させました。

博氏の長女で創業者のひ孫にあたる美鈴氏が、4代目の代表取締役社長に就任したのは5年前の2018年。「幼いころから父に跡を継げと言われたことはありませんでしたし、祖父母は多少期待していたようですが、女性に会社経営は難しいという昔ながらの考えもあり、私の夫になる人が承継してくれれば、というぐらいの考えだったと思います」と美鈴氏。学生時代から体を動かすことが好きだった美鈴氏は、スノーボードやスイミングのインストラクターとして働き、長く印刷業界とは無縁でした。好きな仕事でしたが定職ではなかったため「両親に心配をかけた。少しだけでも恩返しできれば」という思いで20代後半からアルバイトとして家業を手伝い始めたといいます。

当初はA4やB5といった紙のサイズすらわからず客先や社内で怒られる日々が続きました。しかし仕事を覚えていくうちに、集客や告知といった顧客が抱える課題を印刷というものづくりで解決することに魅力を感じるようになります。

2000年に正式に入社したあとも、しばらくは会社になじめず孤立しがちでしたが、3年目のある日、失敗をきっかけに社内での関係が改善します。イベントの告知チラシを1週間後と間違えて新聞の折り込み発注をしてしまった美鈴氏は、2万枚のチラシを自力でポスティングするしかないことに気づいて途方に暮れました。そこへ「一緒にやりますよ!」とスタッフが集まり、真冬の寒いなか分担して地域をまわってくれたのです。「そうか、頼ればよかったのか」と気づいたことで、以降は積極的に声をかけていくように変わっていったと振り返ります。

コロナ禍を逆手に取り、商品開発を始動

父の博氏から事業承継を打診された際は一旦断ったといいますが、デザイン関連の仕事をする夫が同社へ転職してきてくれたこともあり、「自分しかいない」という思いで社長就任を決断。社長業が軌道に乗ったのちは、夫は別にデザイン会社を立ち上げて独立し、提携関係を継続しているほか、「根性のあるスタッフのみんなが支えてくれているので、自信をもって外回りをしています」と朗らかな笑顔で話します。

長年にわたり、名刺や封筒などのリピート発注で安定経営を続けてきましたが、ペーパーレス化が進むなかチラシ印刷なども減り、さらにはコロナ禍で受注が大きく落ち込みました。このピンチをチャンスに変えようと始めたのが、空いた時間を使った社内ミーティングでした。そのなかから生まれたのが「世の中に感謝をふやそう!」を合言葉にした感謝状のネットショップ「tataYell（たたえーる）」。この企画が自社商品の開発と、それらを一般に広く販売するためのECサイトの立ち上げにつながりました。

また、社内の経理、製造、営業の各部門から1人ずつ女性スタッフが参加し、「こんなモノがほしい」をかたちにする女子プロジェクト「てのばし工房」を設立。デジタルの時代に紙のぬくもりと紙の良さ、そして「しが愛」を伝えたいという思いで文具などのオリジナル商品を開発しています。商品の販路開拓ははじめてということもあり当初は苦労しましたが、取り扱い店舗数も増え、びわ湖のヨシを使った商品やデザインの面白さがさまざまな媒体でも紹介されました。遠方の企業から「うちのオリジナル商品も作ってほしい」という依頼も寄せられ、OEM事業も始まっています。このほか、動画による宣伝・告知をもっと手軽にできるようにと、パンフレットやチラシなどの紙媒体を使って動画（アニメーション）を作成する「カミカラムービー」もスタートさせました。

これからの時代に印刷会社ができること

ペーパーレスの時代に入り「印刷屋さんは大変でしょう、とよく言われますが、私自身は危機ととらえておらず、人にものを伝えるためには私たちのような仕事は不可欠で、印刷会社ができることは各方面の企業から溢れてくると感じています」と美鈴氏。それらをどんなかたちに創っていくのかをプロデュースするのが役割であり、小ロットにも対応できる小回りの良さを強みに、顧客に寄り添う身近な存在として相談を解決に導く窓口になっていきたいといいます。

納期に追われることが多く、機械の稼働時間=売上とされる印刷業界にあって、先代のころより残業のない体制を整えてきたことで働きやすい環境づくりも実現しており、社員の半数を女性が占めているのも同社の特徴です。人材不足の昨今、さらに産休・育休の制度を充実させていくほか、外部コンサルティングを交えて年4回前後の全員研修も導入。コミュニケーションを活発にしてチーム力を高めることに力を入れてきました。職人気質が残り、部門間の交流をもちにくい業態であることを踏まえて、毎朝全員で朝礼を行っています。円陣を組んで一人ずつその日の予定を報告し、さらに抽選で一人が「good&new」を話すことにして、明るい気持ちで仕事に向き合えるよう工夫しています。

近江商人の「三方よし」をヒントに「三方笑顔」を掲げ、自分たちが一人ひとり主役として輝ける場所を作る「売り手笑顔」、顧客や商品にスポットライトが当たるようなパートナーになる「買い手笑顔」、そして社会に喜びの笑顔があふれるよう、自分たちが仕掛け人となって感謝の輪を広げる「世間笑顔」をモットーに、これからも挑戦は続きます。

DATA/TRANSITION

令和5年度 第3四半期主要数値及び概況説明

保証承諾累計	853億円	(前年度比 146.6%)
保証債務残高	4,036億円	(前年度比　92.2%)
代位弁済累計	39億円	(前年度比 156.5%)

[第3四半期(4～12月)の保証概況]

(単位：百万円・%)

区　分	令和5年度（第3四半期）			令和4年度（第3四半期）		
	件数	金額	前年度比	件数	金額	前年度比
保　証　申　込	7,379	92,701	134.7	6,083	68,831	130.5
保　証　承　諾	6,987	85,317	146.6	5,421	58,196	98.4
保証債務残高	35,763	403,609	92.2	37,421	437,651	95.8
代位弁済(元利)	365	3,869	156.5	204	2,472	135.9

保証申込

保証申込は7,379件(前年度比121.3%)、927億1百万円(同134.7%)となり、前年と比べ件数で1,296件、金額で238億70百万円増加した。

保証承諾

保証承諾は6,987件(前年度比128.9%)、853億17百万円(同146.6%)となり、前年と比べ件数で1,566件、金額で271億20百万円増加した。

今年度の保証承諾実績を制度別でみると、セーフティネット保証は2,430件、403億22百万円となり、保証承諾に占める割合は47.3%となった。このうち、伴走支援型特別保証は2,393件、399億89百万円となった。創業者向け保証制度は342件、17億38百万円、アシストライン（プロパー協調融資保証）・リレーション（事業性評価保証）の合算で124件、23億17百万円、ケイゾク（短期継続融資保証 通常枠・税理士連携枠・金融機関モニタリング枠）は1,334件、173億75百万円、経営改善サポート保証・政策推進資金保証（再生支援枠）の合算で26件、7億57百万円となった。

1件あたりの保証承諾額は12百万円で前年と比べ1百万円増加している。また平均保証期間は63.3か月と前年に比べ12.6か月長期化している。

保証債務残高

保証債務残高は35,763件(前年度比 95.6%)、4,036億9百万円(同92.2%)となり、前年と比べ件数で1,658件、金額で340億42百万円減少した。

保証利用企業者数は16,626先で、前年と比べ730先減少した。

1先あたりの保証債務残高は24百万円となり、前年と比べ1百万円減少した。

今年度の保証債務残高を制度別でみると、セーフティネット保証・危機関連保証は20,745件、2,762億32百万円となり、保証債務残高に占める割合は、68.4%となった。このうち新型コロナウイルス感染症対応資金は13,883件、1,695億37百万円、伴走支援型特別保証は3,808件、578億76百万円となった。創業者向け保証制度は1,397件、51億93百万円、アシストライン（プロパー協調融資保証）・リレーション（事業性評価保証）の合算で956件、109億90百万円、ケイゾク（短期継続融資保証 通常枠・税理士連携枠・金融機関モニタリング枠）は1,670件、215億24百万円、経営改善サポート保証・政策推進資金保証（再生支援枠）の合算で364件、58億50百万円となった。

代位弁済

代位弁済は元利合計で365件（前年度比178.9%）、38億69百万円（同156.5%）となり、前年と比べ件数で161件、金額で13億97百万円増加した。

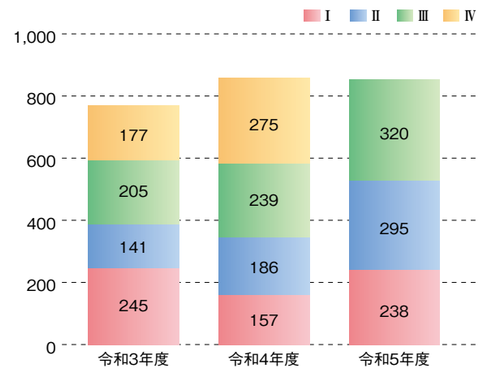
※セーフティネット保証には、伴走支援型特別保証の一般枠が含まれています。
※各表の金額は欄外に記載した単位未満を四捨五入していますので、合計欄と一致しないことがあります。

四半期別保証状況推移表・グラフ

[単位：(表) 百万円，(グラフ) 億円]

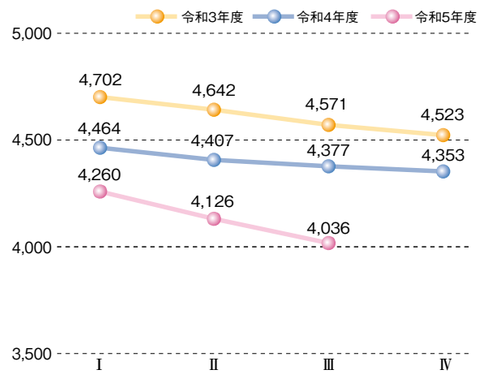
保証承諾

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅰ	24,516	15,678	23,775
Ⅱ	14,104	18,628	29,503
Ⅲ	20,496	23,891	32,039
Ⅳ	17,737	27,485	
累計	76,853	85,682	85,317



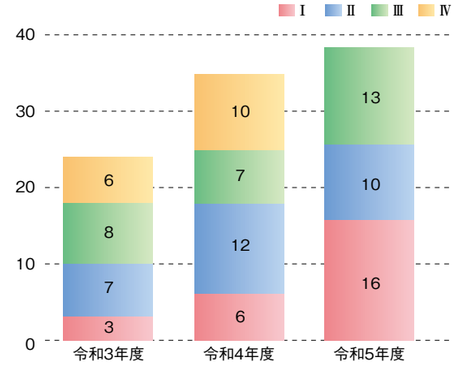
保証債務残高

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅰ	470,160	446,368	425,972
Ⅱ	464,164	440,724	412,624
Ⅲ	457,063	437,651	403,609
Ⅳ	452,305	435,300	



代位弁済(元利)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅰ	345	586	1,578
Ⅱ	677	1,202	978
Ⅲ	797	684	1,313
Ⅳ	583	972	
累計	2,403	3,444	3,869



第32回『金融機関対象信用保証業務基礎講座』を開催しました!

令和5年11月10日(金)、『第32回金融機関対象信用保証業務基礎講座』を開催しました。この講座は、主に県内金融機関各店舗の若手行員の方々を対象に、信用保証協会の仕組みや業務など基本的な内容についての理解を深め、また、当協会職員とのコミュニケーションを図っていただくことを目的としています。

今年は昨年同様集合研修形式での開催とし、県内金融機関から49名の方にご参加いただきました。

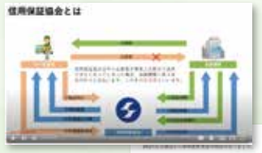
今年度は昨年同様、事前学習として講義動画をYouTubeで限定公開し、当日までに各自で視聴・学習していただく形をとり、当日は集合研修形式で班別演習と座談会を行いました。

講座終了後には意見交換会を行い、当協会の職員や各金融機関の参加者が組織の枠を超えて交流を深めました。

事前学習

事前学習となった講義動画は、「視聴すれば、明日からでも保証協会付案件の取扱いができる」とのコンセプトで、金融機関若手担当者の方にも分かりやすい内容としました。

「保証協会について」「申込書類記入のポイント」「審査のポイント」の3構成で、保証協会付融資の基本的な事項について幅広く学習していただきました。



班別演習・座談会

当日の班別演習では、受講生を7班に分け具体的な事例に取り組んでいただきました。

当協会の審査担当者がアドバイスをしながら、受講者同士で討議し、申込人のニーズに合った保証申込案件の組み立てを行いました。最後には、班別演習の結果を発表いただき、当協会職員からのフィードバック、総評、質疑応答で締めくくりました。

また、班別演習終了後、座談会の時間を設けました。日頃の保証協会付融資に取り組む際の悩み事等、他金融機関の受講者や協会担当者と活発な意見交換、情報交換が行われました。

受講者の感想

- 引き続き、金融機関の関わりができる場を作っていただきたいです。
- 班別研修で、いろいろな考え方が知れたので勉強になりました。見るべきポイントをしっかり理解できました。今後の業務で活かしていきたいと思います。
- 実際の制度やありそうな事例で考えることができて分かりやすく、座談会で協会さんの話を聞くことができてよかったです。
- 保証協会様の視点で事例研究を行うことができました。依頼書、申込書を送付させていただく際気を付けたいと思います。
- 座談会が有意義な情報交換の場になったので、次年度も組み入れていただきたいです。

受講者の皆さま、お疲れ様でした。益々のご活躍を祈念しております。

当協会の取り組み

何からはじめる？ 中小企業者のための『DX活用セミナー』を開催しました!

令和5年9月28日(木)、コラボしが21にて『何からはじめる? 中小企業者のためのDX活用セミナー』をオンラインと会場とのハイブリッド形式で開催し、当日はオンライン16名、会場12名の計28名にご参加いただきました。

本セミナーでは、独立行政法人中小企業基盤整備機構　近畿本部　中小企業アドバイザー　吉村（よしむら）　正裕（まさひろ） 氏を講師にお迎えし、DXの基礎、活用事例について詳しくご説明していただきました。

セミナー後に行ったアンケートでは

「大変わかりやすく、仕事上の改善とその意識の向上につなげられると感じました。」
「DXというと難しいイメージがありましたが、噛み砕いて学ぶことができてとても有意義な時間となりました。」
「どのような観点から入ったら良いか迷っていましたが、良く理解でき、よいセミナーだと感じました。」
「具体的に支援させていただくステップを踏まえて実践させていただければと思います。」
といったお声をいただきました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後のセミナーをより充実させるために活用してまいります。
今回、本セミナーにご参加いただいた皆さま、ご協力いただいた関係機関の皆さまには、この場を借りてお礼申し上げます。

【主催】滋賀県信用保証協会　【オンライン配信協力】エフエム滋賀　　共催：独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部
協力：滋賀県総合企画部DX推進課　　後援：滋賀県商工会議所連合会・滋賀県商工会連合会・(公財)滋賀県産業支援プラザ

当協会の取り組み

『創業サポート研修』を開催しました!

令和5年11月29日(水)、コラボしが21にて『創業サポート研修』を開催し、これから創業を目指す方・創業後5年未満の方20名にご参加いただきました。

本セミナーでは、税理士　髙田（たかだ）　雅敏（まさとし）　氏を講師にお迎えし、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓の4つの分野について、ご講義いただきました。

セミナーの前半では、創業計画の作成、会計の基礎知識について詳しくご説明していただき、セミナーの後半では、実際に資金繰り表を作成するなど、わかりやすくご解説していただきました。

セミナー後に行ったアンケートでは

「具体的な例が多く想像しやすかったです。」
「自分が知らない分野の知識を教えてくれてとてもよかったです。」
「経験を交えてお話ししてくださったので、興味を持って楽しく聞くことができました。」
「身近に感じられる話が多く、わからない点もわかりやすく説明され研修にきてよかったです。」
といったお声をいただきました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の当協会の創業支援をより充実させるために活用してまいります。
今回、本セミナーにご参加いただいた皆さま、ご協力いただいた関係機関の皆さまには、この場を借りてお礼申し上げます。

【共催】滋賀県信用保証協会・大津商工会議所

「OSAKAビジネスフェア2023」に当協会の推薦企業3社が出展されました!

令和5年11月22日(水)、大阪信用保証協会主催の「OSAKAビジネスフェア2023」がマイドームおおさかにて開催されました。本ビジネスフェアは、優れた技術や魅力のある商品･サービス等を有し、前向きにチャレンジしている中小企業･小規模事業者に対して、自社をPRする機会と出展者との間における情報交換の場を提供することで、今後のビジネスチャンスのきっかけをつくることを目的としています。

当日は151企業･団体によるブース出展、特別講演およびミニセミナーが行われ、来場者は約2,100人と盛況でした。滋賀県からは、有限会社滋賀工業所様、株式会社アライ様、株式会社中村屋様の3社に出展していただきました。遠方からのご出展、誠にありがとうございました

当協会推薦企業紹介

有限会社 滋賀工業所(しがこうぎょうしょ)

ミキサー & リフトボーイ製造特化で滋賀一番

事業内容　食品加工機械器具製造
住　　所　滋賀県大津市富士見台5-24
T E L　077-537-3563

展示会初出展、全力で準備できました。保証協会担当者様に常に伴走頂いたことに心より感謝致します。「うまい肉こねてます!」「求む!金属加工会社様!」狙い通りの集客につながったことを、今後さらにつなげていきます。

株式会社 アライ

透明の成形品ならアライにお任せください!

事業内容　プラスチック加工
住　　所　滋賀県大津市牧3-14-1
T E L　077-549-0111

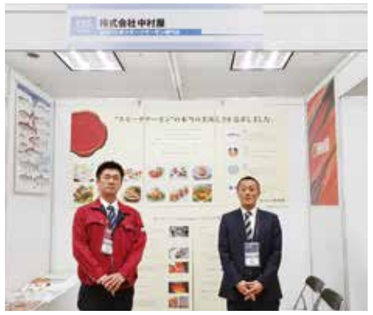
プラスチックの射出成形品と自社の生産体制を紹介させていただきました。これまで培ってきた品質基準や量産技術を様々な分野の方にアピールすることができました。貴重な機会を作っていただき、感謝いたします。

株式会社 中村屋(なかむらや)

創業65年スモークサーモン専門店

事業内容　水産物加工
住　　所　滋賀県長浜市口分田町23番地
T E L　0749-62-1974

今回のフェアで、たくさんの来場者様にスモークサーモン専門店の魅力をPR出来ました。様々な業種の皆様との出会いがあり、食品メーカーとして、有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。



お知らせ

TKC近畿京滋会主催の「金融機関交流会」に参加しました

令和5年10月12日(木)、TKC近畿京滋会主催の「金融機関交流会」が開催され、当協会職員がパネルディスカッションのパネラーとして参加しました。

同交流会は二部で構成され、第一部の基調講演に続き、第二部においてパネルディスカッションが行われ、当協会からは「県内中小企業者の現況等」「当協会の経営者保証不要への取り組み状況」「収益力改善･ガバナンス体制の整備支援と経営改善･再生支援の促進」について説明し、ディスカッションを行いました。

滋賀大学と包括的連携協力に関する協定を締結しました

令和5年11月8日(水)、滋賀大学との間で包括的連携協定を締結しました。

本協定は、両者が相互に協力し、互いの持つ知的･人的･物的資源を結集して、双方の発展と活力ある地域づくりを進めるとともに、地域経済の発展、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的とするものです。

今後は、協会主催の創業セミナーへの学生参加や、大学発ベンチャー認定者への開業資金支援、協会職員による大学での起業相談会、インターンシップを始めとするキャリア形成支援活動など、包括的な取組を展開し、起業マインドの醸成と新たなアントレプレナーの育成を促進します。さらに、大学の知見やノウハウを協会と共有し活用することにより、社会や地域の課題解決にも貢献してまいります。

「大学連携信用保証料割引制度」を創設しました

滋賀大学との包括的連携協定に基づき、新たに「大学連携信用保証料割引制度」を創設しました。

開業資金支援として、当協会と連携協定を締結する大学の学生･卒業生および大学発ベンチャー認定者の安定的な資金確保を図るため、資金調達の際の信用保証料の負担を大幅に軽減し、学生の創業や大学発ベンチャーを金融面からサポートします。

令和5年12月には、第1号として滋賀大学発ベンチャーの認証を取得されている株式会社イヴケア様に本制度をご利用いただきました。

当協会の取り組み

事業承継個別相談会を開催しました

令和5年9月29日(金)、10月30日(月)、事業承継を予定している経営者および承継予定者の方を対象とした事業承継個別相談会を滋賀県事業承継･引継ぎ支援センターと連携して開催しました。

相談会には、9社が参加され、それぞれのお悩みに対し、滋賀県事業承継･引継ぎ支援センター相談員と当協会の職員がきめ細かなアドバイスを行いました。

令和5年度 滋賀県再生支援連絡会議(全体会議)を開催しました

令和5年11月21日(火)、令和5年度 滋賀県再生支援連絡会議(全体会議)をオンライン形式で開催しました。会議には、当協会の4名の他、11金融機関および16関係機関から計33名の方にご出席いただきました。

本会議では、株式会社地域経済活性化支援機構　執行役員　柏木　寿深　氏、経営企画本部　地域金融連携部　担当部長　坂本　公輝　氏から、「地域経済活性化支援機構(REVIC)の事業者支援策･支援事例」をテーマにご講演いただき、その後「各機関における本業支援の取り組みについて」をテーマに意見交換を行いました。

今後も、本会議を通じて関係機関との連携強化、幅広い情報交換等を行っていきます。

人権教育全体研修を実施しました

令和5年11月27日(月)、人権教育全体研修を実施し、役職員70名が参加しました。

当日は、(公財)滋賀県人権センターから山村　暁子氏をお迎えし、「企業と人権」というテーマでご講演いただきました。

人権に対する社会の動きや企業の課題など、企業活動と人権の関係について具体的な事例を用いてご説明いただき、改めて人権問題について考える機会となりました。

これからも本研修で学んだことを心に留め、規律ある行動に努めてまいります。

当協会の取り組み

外来魚駆除を行いました

令和5年9月2日(土)、環境保全活動として、事務所近くの湖岸沿いにてびわ湖の生態系保全を目的としたボランティア活動を行いました。

当協会からは、役職員24名が参加し、釣果を競って楽しみながら外来魚を釣りあげました。

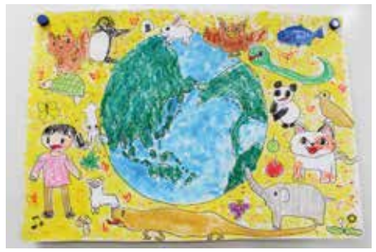
「大津･SDGs 子ども絵画コンクール2023」で特別賞(滋賀県信用保証協会賞)を贈呈しました

当協会は、「大津･SDGs 協働支援チャリティプロジェクト2023」に協賛しており、このたび大津市市民活動センター主催の「大津･SDGs 子ども絵画コンクール2023」において、審査員を務めさせていただきました。

令和5年10月31日(火)、本コンクールの審査会に当協会総務課長が出席し、大賞および特別賞(滋賀県信用保証協会賞)の選定を行いました。当協会の特別賞には、竹本愛梨さん(小学4年生)の作品「地球上のすべての生き物を守ろう。」を選ばせていただきました。

令和5年12月3日(日)には表彰式が開催され、当協会総務課長から竹本さんに特別賞を贈呈しました。

今後も、当協会では、地域へのSDGs普及や、SDGsイベント等への積極的な参加に努めてまいります。



e-radio「こんにちは! 信用保証協会です!」シーズン2を放送しています

令和5年4月からFMラジオ放送局「e-radio」において当協会の情報番組として「こんにちは! 信用保証協会です!」を放送しています。6月から9月の放送では、当協会の経営支援の取り組み内容を4回に分けて紹介しました。

10月からはシーズン2の放送を開始しており、上半期放送内容の総括と事業者との対談形式での創業支援特集を放送いたしました。シーズン2は3月まで放送されますので、ぜひお聞きください。

放送日：毎月第4月曜日　12：03～12：15（*放送後「radiko」でも配信されます。）

※e-radio
HP:https://www.e-radio.co.jp/

アナタのお店を紹介します！

当協会を通じて、創業資金をご利用されたお客さまに対し、お店のひとこと PR を当協会の広報誌『信用保証レポート』に掲載させていただいています。
掲載料は無料ですので、興味のある方は是非この機会にご利用ください！ 担当 総務企画部企画デジタル課／ **TEL.077-511-1310**

243 魔法（まほう）のパンケーキ
Cafe

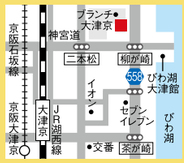
季節のフレッシュフルーツパンケーキ1,700円

ハワイにある小さなカフェをイメージした陽気な店内

ふわふわしっとり食感のパンケーキ。限界まで分厚く焼き上げ、甘さ控えめのエスプーマホイップをたっぷりと添えたパンケーキには好みでシロップをかけて。自慢のパンケーキはもちろん、食事メニューも充実。ランチセットならミニパンケーキが付いてお得。

HP
Instagram

TEL.077-572-5727
大津市二本松1-1 ブランチ大津京1F
11:00～20:00(LO19:30)
不定休
P有(共用)



244 KUROFUNE DRONE（クロフネドローン）
Training School

安全第一を心がけ、事故を未然に防ぐため事前の点検に重点をおいているのだそう

測量などの仕事や空撮といった趣味に活かすほか、幅広く活用されている無人航空機・ドローン。その操縦に必要な資格取得のための講習が受けられる講習所がこちら。国土交通省にも認定されている信頼の講習所で、ドローン操縦士を目指そう。

HP
Instagram

TEL.0749-68-3366
甲賀市水口町嵯峨607-3
10:00～20:00
※カリキュラムによって異なる
無休
P有
※事前予約制

245 らーめん 伊（い）の屋（や）
Ramen

香川県産の醤油が香る「鶏そば醤油」950円

近江鶏など数種類からブレンドした鶏だしの旨みと、ふわりと香る醤油の風味がたまらない自慢のラーメン。全粒粉入りの自家製麺ともよく合う奥深い味わいを心ゆくまで。レアな食感と味わいを楽しめるようにと別皿で供されるチャーシューも美味。

Instagram

TEL.077-565-2409
草津市野村3-7-28
11:00～15:00
水曜休
P有(8台)

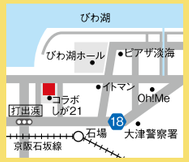
246 日中夢楽観光（にっちゅうゆめらくかんこう）
Travel agent

日中夢楽観光
ロゴは書家の紫舟氏による揮毫

中国旅行を考えているなら、“その道のプロ”に任せてしまおう。出張の手配や個人旅行、ビザの申請など多様なニーズにも迅速に答えてくれるのが信頼の理由。滋賀で唯一、直接ビザ申請ができる旅行会社とあって、県内外からの問合せも多いそう。

HP
facebook

TEL.077-515-2924
大津市打出浜2-1 コラボしが21 4F 406
9:30～18:00
土・日曜、祝日休
P有(コラボしが21)



247 八田土地家屋調査士事務所（はったとちかおくちょうさしじむしょ）
Land and Building Surveyor Office

土地・建物に関するお悩み、なんでも聞かせてください

土地の表示に関する登記や測量、分筆、地目変更、土地境界の確認など土地と建物のあらゆることを担うスペシャリスト。小さな疑問や悩みにも親身に答えてくれるから、どこに聞けばいいか分からない土地の話をなんでも相談してみて。

HP

TEL.077-526-5223
大津市御陵町5-16（大津市役所前）
9:00～17:00
土・日曜、祝日休
P有(事務所前1台)

248 Patisserie Noriko（パティスリーノリコ）
Patisserie

みんなの笑顔あふれる“街のケーキ屋さん”。ワクワクと心が躍る店内には、上質で親しみあるスイーツがずらり。すべてのお菓子に甘みとコクの強い栃木県産の卵を使い、素材を活かしたカスタードクリームを使ったケーキやプリンは特におすすめ。

Instagram

TEL.077-526-7737
大津市大萱1-1-9 STSビル1F
12：00～18：00
火～木曜休
P有(1台)※近隣にコインPあり

249 チャトラン
Restaurant

前菜付きの「ローストビーフのひつまぶし」2,200円

信楽の小さな森の中に佇む、茅葺き屋根の古民家レストラン。趣きある空間で味わう「ひつまぶし」は3種を用意し、季節を感じる前菜には滋賀の恵みをふんだんに。嘉祥窯の窯元が手がける華麗なうつわが、料理をさらに引き立てる。

Instagram

TEL.0748-70-2921
甲賀市信楽町牧15(ENSOU敷地内)
11:00～16:00(LO15:00)
月曜休
P有

250 EXCEED（エクシード）
Car purchase specialty store

中古車だけでなく廃車、建築機、フォークリフトまで幅広く買い取りしてくれる、車の買取専門店。滋賀と福井を中心に、長年の経験と実績をもつ車のエキスパートが、さまざまな要望にこたえてくれるから気軽に相談して。出張査定が無料というのもうれしい。

TEL.070-1839-3377
長浜市法楽寺町41-13
9:00～17:00
不定休
P有
※来店時には事前に予約を

中小企業診断士に学ぶ！ DX講座

中小企業診断士
千田（せんだ） 哲也（てつや）
株式会社オルガナ
代表取締役

第4回

AIの進化が開く未来－ChatGPTを活用した中小企業の新たな道

1. ChatGPTとは －AIの進化の最前線

近年、AI技術の進化は著しく、特に注目を集めているのが「ChatGPT」です。これは自然言語処理に基づくAIで、人間のような会話が可能です。ビジネスシーンでは、顧客サービスの向上、効率的な内部コミュニケーション、さらには創造的なアイデア生成に貢献しています。最近では、この技術はさらに進化し、画像やグラフの生成にも対応しています。このような進化により、ビジュアルコンテンツの自動生成やデータの可視化が可能になり、ビジネスでの活用の幅が広がっています。

2. 中小企業におけるChatGPTの活用法

中小企業では、リソースや予算の制約があるため、ChatGPTのようなツールの活用が非常に重要です。たとえば、経営計画の立案において、ChatGPTは市場分析、競合分析、リスク評価などの複雑なデータを処理し、経営者にとって有益な洞察を提供します。また、財務診断においても、過去の財務データを分析し、将来のキャッシュフロー予測や収益性の改善策を提案することができます。これらの活用により、経営者はより戦略的な意思決定に集中し、ビジネスの成長と安定を図ることができます。

3. 実践例：顧問先でのChatGPTのテスト的な活用

私が顧問を務める中小企業でも、ChatGPTの活用について共同で研究を進めています。具体的なテスト例として、まずはクラウド会計のAPIを利用して財務データをダウンロードし、ChatGPTを活用して財務診断を行っています。このプロセスを通じて、財務状態の迅速な分析や、将来の財務計画策定のサポートが可能になります。

さらに、前回記事で紹介したマーケティングオートメーション（MA）と組み合わせて、顧客とのコミュニケーション文書を自動化しています。この取り組みにより、顧客からの問い合わせへの迅速な対応はもちろん、マーケティングメッセージのパーソナライズやターゲティングが向上し、顧客関係管理の質が格段に向上しています。

4. 未来を見据えたChatGPTの活用

ChatGPTは進化し続ける技術です。今後はより高度な分析、個別化されたマーケティング戦略の提案、さらには新製品やサービスのアイデア創出にも大いに貢献していくでしょう。この技術は、中小企業にとって単なるツールを超え、事業成長の鍵となります。

Chat GPTをはじめとするAI技術の活用は、中小企業にとって避けて通れない道です。デジタル時代において競争力を保ち、持続可能な成長を実現するためには、AI活用への一歩を踏み出すことが不可欠です。ChatGPTの活用を通じて、皆様のビジネスが発展することを願っています。

滋賀県産業支援プラザからのお知らせ

がんばる企業を応援します！

デジタル化が加速度的に進む中、新技術・新製品の開発、現場の生産性の向上、働き方改革などの企業の課題を解決するために、外部の技術や人材を活用したオープンイノベーションは極めて有効です。産業支援プラザは、企業のDX事例の紹介をはじめ、目的に応じた最新のデジタルツールや外部の人材の紹介、補助金による取り組み支援などで、企業のDXをオープンイノベーションでバックアップしています。

外部資源（技術、ノウハウ、人材）を活用したオープンイノベーションで企業のDXを支援！

未着手企業 → DXによる業務改革 → 先進企業

何をする？
事例を知る・学ぶ（セミナー）
気付きの提供

どうする？
手法やツール紹介（人材育成講座）
手段の提供

誰がする？
外部の人材の紹介
人材の提供

社内育成？
実践環境の構築支援（補助金）
環境の提供

啓発
・先進企業の良好事例の紹介
・セミナー、学習機会の提供
・コーディネータによる支援
しがオープンイノベーションフォーラム

IoTによる現場改善支援
・実践によるスキルの習得
・大学等と連携したカリキュラム
しが産業生産性向上経営改善センター

外部人材の活用支援
・経験豊富なDX人材の紹介（専門人材による伴走支援）
滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点

社内の人材育成と環境の強化
企業のDX推進補助金
・社内の人材育成と環境構築の取組を補助金でバックアップ
企業人材のDXスキル強化支援事業

参加者募集中　時流を掴め～たゆまぬイノベーションが成長をもたらす～

変化が激しい時代にあって、的確なニーズの把握とたゆまぬイノベーションこそが、企業の成長をもたらします。現在もイノベーションで成長を続ける両社に、時流を掴む秘訣についてお話しいただきます。

日　時：令和6年（2024年）2月8日㈭ 14:00～16:30
会　場：コラボしが21　3階 大会議室
講　師：株式会社SCREENホールディングス　取締役会長　垣内　永次 氏
　　近江度量衡株式会社　代表取締役社長　田中　秀康 氏

詳しくは、イノベーション推進課までお問い合わせください。
TEL：077-511-1414
e-mail:ino@shigaplaza.or.jp

公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ
（公財）滋賀県産業支援プラザは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています
〒520-0806　滋賀県大津市打出浜2番1号
コラボしが21〈2階〉
TEL.077-511-1410（代表）
【E-mail】info@shigaplaza.or.jp

ミライリポート ～SDGs企業に学ぶ～

今回のテーマ

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも守ろう

上田（うえだ） 洋平（ようへい）
滋賀県立大学
地域共生センター講師

リサイクルたい肥「めぐりっ娘」

「四方よし」の連立方程式に挑む

株式会社 日映志賀（にちえいしが）
社長室　室長　中村（なかむら） 信滋（しんじ）氏

●「ごみ」と「めぐみ」のものがたり

江戸時代、我が国の都市は世界に類のないほど衛生的であったと言われている。もちろん、はじめからそうだったわけではない。環境省発行の報告書によれば、原始・縄文時代から平安時代にかけては、し尿は垂れ流しか、居住地周辺に投棄されていた。鎌倉時代以降、本格的な都市が成立するにともない、都市の食料を確保するための近郊農業が発展する一方、都市のし尿を肥料として農業に利用する資源循環のシステムが形成され、それが江戸時代にはかなり高度な水準にまで達したものである。（環境省他、2020）

ところが明治以降、急激な人口増加や、工業化に伴う農村から都市への人口流入と農業労働力の減少、郊外農地の減少による需給バランスの崩れ、そして化学肥料の普及などによって、資源循環の仕組みは次第に行き詰まる。とりわけ第2次世界大戦後には都市部においてし尿があふれる事態になり、無秩序な投棄が横行、環境汚染、伝染病や寄生虫による健康被害の発生を招いた。これを機に、し尿処理のための法制度や施設の整備、処理方法や収集運搬技術の開発が急速に進められた結果、我が国独自の集約処理システムが構築されることになったのだという。（同上）

このいきさつを、し尿や生ごみに対する人びとの「まなざし」という点からみると、それは「廃棄物」から「資源」へ、そしてまた「廃棄物」へと変転してきたのである。つまり、同じ一つの対象が、各時代の社会・文化的あるいは経済・技術的状況によって、あるときは「ごみ」になり、あるときは「めぐみ」となる。

●時代を、暮らしを支えるしごと

日映志賀（大津市）が創業した1955年は、我が国が戦後復興から昭和の高度経済成長へと向かうなかで、し尿や「廃棄物」への対応が大問題となった時期にあたる。以来同社は廃棄物処理業者として、し尿汲み取りに始まり、一般および産業廃棄物の収集運搬、仮設トイレをはじめ建設現場やイベント会場・災害現場などで必要とされる物品のレンタルへと事業を拡げ、我が国の経済的成長と生活向上のライフラインを陰で支える事業を展開してきた。

中村信滋氏：家業に就くにあたって我が国のし尿やごみ処理の歴史を調べてみて、自社の仕事のすばらしさを改めて感じたという。我が国にはSDGsよりもはるか以前に、持続可能な暮らしや資源循環型の生活システムを実現してきた経験がある。その歴史との連なりを感じながら「人や社会からこんなにありがとうと言ってもらえる仕事はない」と胸を張る。

●時代はめぐり、新しい事業へ

そして現在、平成を経て令和は、SDGsの時代。し尿や生ごみに対するまなざしは、「廃棄物（ごみ）」から「資源（めぐみ）」へと、ふたたび転回しつつある。この変化を受けて、2010年、同社は新たに生ごみたい肥化プラント「コンポストセンター」を建設し、リサイクル事業に乗り出した。

コンポストセンター稼働後10年間は大津市からの委託を受けて、市内の旧志賀町エリア4000世帯あまりのごみを収集し、市民に無償で還元する事業を行っていた。しかし新たな焼却場が設置されたのに伴い、市からの委託は2020年に終了してしまった。そこで、せっかくの設備を活用して、時代にふさわしいビジネスにつなげるため、事業系の生ごみの受け入れができるようにプラントを増設、2022年に稼働させた。

新規事業の発展に向けて奔走するのが同社社長室室長の中村信滋氏だ。じつは「入社」2年目である。大学卒業後、大阪で住宅関連会社や組織開発コンサルタントに勤めていたが、現社長で父の隆氏が一時期体調を崩したのを機に、生まれ故郷に戻り、家業に就いた。

●ごみの話は「きれいごと」では動かない

信滋氏はさっそく営業に乗り出す。生鮮スーパーやホテルを回り、循環型社会実現に向けた食品リサイクルの必要性を説くものの、連戦連敗。みな「頭ではわかっている」のだが、結局「コストのことを考えると切り替えられない」のである。

通常の廃棄物処理からたい肥化によるリサイクル・資源化に切り替えてもらうには費用の面で二段階の壁がある。例えば、あるスーパーと取引するとして、収集運搬業者とリサイクル処理業者がそれぞれ異なる場合、運搬業者としては点在する収集先を効率よく回れるルートを組んでいるのに、そのスーパー1社分だけリサイクル工場に回さなければならなくなる。別途運搬車を出すとなると、そこで費用が発生する。そこへさらにリサイクル費用が発生する。となると「ただでさえ切り詰めているのに、しかも、燃やせば安くで済むものを、なんでわざわざごみにカネ入れてやらなあかんねん。」とか、「分別するのにも人手がいるし、うちではとても無理」という反応になる。「きれいごと言われるけど、そんな体力うちにはないよ、と言われたこともあります」と信滋氏。

「ごみ」を「めぐみ」にというのは美しい話だが、「きれいごと」だけでは現実は動かないというわけだ。

生ごみリサイクル（たい肥化）の流れ：事業系一般廃棄物の生ごみを回収し、刈草剪定枝を水分調整材として混ぜ込み、攪拌、発酵させ、受け入れからおよそ3か月で製品化して販売する。

●ごみをめぐる「連立方程式」に挑む

それでもどうしたらリサイクルに切り替えてもらえるか信滋氏は考えた。例えば、社員教育の一環として取り組むことを提案したり、あるいは、たい肥の納入先リストを示し「御社がリサイクルに回して下さった生ごみは、たい肥になって子どもたちのこんな笑顔につながっていますよ!」と訴えてみた。結果は「ぜんぜん伝わりませんでした」。

「こんなに響かないものか」と悩むなかで、ある大切なことに気づいた。

「それまでは、うちに来てよ、来てよ、という感じで、運搬会社さんにも、そんなん言わんと持ってきてよ、と言っていたんですが、各社を回るなかで、彼らからすると、リサイクルするためにわが社に持ってきたら損になるんだ、ということが見えてきた。それからはどうやったら排出元にも利益が出て、運搬業者も、うちも喜んで、そして、できたたい肥が地域・社会に還元されていくか、ということをトータルで見て、全部がバランスよくなるのはどういう形かということを考えるようになったんです」。

つまり「循環型社会の押し売り」ではなく、排出元、運搬業者、処理業者と地域・住民の「四方よし」のサービスを提案することが大事なのだと気が付いた。「そこに気が付いてからは楽しくなってきました。まあ、難しいことには変わりないんですが」。

事業を通じて「環境」「社会」「経済」の「連立方程式」を解く。それが難問であるほど、解にたどりついたときの喜びは、単に利益が上がったという以上の清々しさをともなうものになるだろう。

たい肥を使ってくれる出口も増やさねばならない。「たい肥の活用法をレクチャーしたり、情報をSNSで共有したり、作物を持ち寄る市を開いたり、自社農園をつくったり。そうやって、ごみを通して人びとがつながるコミュニティを育むことが出来れば、わが社はただのごみ屋から、2段階ぐらい進化した会社になれると思います」。

伊香立コンポストセンター：県内で3軒しかない食品リサイクル法にかかる登録再生利用事業者の登録も受けている。

●きれいな滋賀を次世代に

「滋賀にちなんだお名前ですか」と話を向けると「学年が進むにつれて琵琶湖から離れてゆく暮らし」を歩むなかで、ときには「ゲジゲジナンバー」などと揶揄されて「じつは滋賀県にコンプレックスを持っていた」と「告白」した信滋氏。「でも、滋賀に戻って以降、毎日琵琶湖を見ては感動しているんです。こんなきれいなところに住んでいたのに、今まで下を向いて生きていたのかなあ」と笑いつつ、「いま、あらためて、きれいだな、と思った滋賀県を子どもの代まで残していくことに貢献していきたいと思います」と語った。

【参照・引用】
『令和元年度　し尿処理技術・システムに関するアーカイブス作成業務報告書《上巻》』環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課／一般財団法人日本環境衛生センター、2020年

Corporate Data 企業データ

本　社：〒520-0514 滋賀県大津市木戸1178
創　業：1955年4月（昭和30年）
設　立：1995年1月（平成7年）
従業員：36人
事業内容：廃棄物収集運搬、リサイクル処理

特　集
事業承継・引継ぎ支援センターの活用方法をご存じですか？

大津商工会議所内に設置されている**事業承継・引継ぎ支援センター**は、国が各都道府県に開設した**事業承継・引継ぎのワンストップ支援を行う公的な相談窓口**です。中小企業診断士や税理士、金融機関出身者などの専門家が常駐し、**事業承継に関するさまざまなご相談を無料**でお受けしています。

今回は、**滋賀県信用保証協会と連携してサポートした活用事例をご紹介**します。

＼ 滋賀県内の ／ 事業承継 事例紹介

左から 保証協会 小谷係長、深田奈保さん、細見卓さん（後継者）、細見信雄さん（現経営者）、保証協会 下司部長

オーダーメイドで一から機械をつくり上げる面白さを受け継いで

有限会社　滋賀工業所（しがこうぎょうしょ）

業　種：食品加工機械の設計・製造・販売・保守
所在地：滋賀県大津市富士見台 5-24
ＴＥＬ：077-537-3563

1962年に創業し、冷凍食品のハンバーグや餃子、練りものなどの加工に使用する具練り攪拌のミキサーを主に手掛けてきた滋賀工業所。オーダーメイドによる機械の設計から製造、販売、保守サービスまでを一貫して手掛けています。専門家の伴走型支援のもと事業改革を行うなかで新製品の開発を進め、あわせて2024年1月の事業承継を目標として計画を策定。父から息子へスムーズな代表者移行を進めています。

支援の流れ

ご相談のきっかけ	現状分析・課題把握	解決策のご提案・実施	支援の成果
信用保証協会に相談し、同保証協会からセンターの紹介を受ける	事業改善や生産性の向上と同時に、新製品の開発や販売ルートの開拓が急務	専門家派遣を活用して事業改革を進め、センターが事業承継計画の策定を支援	スムーズな代表者移行を進めながら、新商品の開発や展示会への出展などに挑戦している

最初はどのようなことから始めましたか？

現経営者　細見（ほそみ） 信雄（のぶお）さん

令和3年、滋賀県信用保証協会さんから専門家派遣として紹介していただいた中小企業診断士の佐々木武先生（オフィス未来）から経営改善などのアドバイスを受けることになりました。

同じ先生がメーカーの事業改善にも詳しいということで、生産性向上プロジェクトへの協力も仰ぐことになりました。月1回の面談を続けていくなかで事業承継にも着手することになり、紹介いただいたのが事業承継・引継ぎ支援センターさんです。同じ先生をセンターから引き続き派遣いただけることになり、事業承継計画を策定、2024年1月に無事、社長交代の運びとなりました。

現経営者　細見 信雄さん

後継者の取り組みをどのように感じていますか？

現経営者　細見 信雄さん

息子にとって家業はまったくの畑違いでしたが、私自身の事業承継が第二創業に近いかたちであり、ベンチャーとしてとらえるなら息子も魅力を感じてくれるのではという期待がありました。

いまでは新製品の開発にも熱意をもって取り組んでおり、とくに取引先や協力会社との関係を大切にする姿勢は感心するほどです。お客様のお困りごとに応えてファンを増やしているようにも見受けられ、謙虚に聞く耳をもつことが成長につながっているようで、頼もしく感じています。

オーダーメイド設計及び機械製作を少数精鋭で行っている

今後への想い

後継者　細見（ほそみ） 卓（たく）さん

2023年11月には県のよろず支援拠点のサポートを受けて初めて展示会に参加し、機械内部の技術を見せる模型を作って展示しました。

将来的には工場の一角に展示室を設け、独自の技術を売り込んでいきたいと考えています。また、得意とする攪拌技術だけでなく、その前後の食品製造工程に関わる製品の開発や、廃業する事業者からの独自技術の継承にも取り組み、食品業界以外にも目を向けて挑戦していきたいと考えています。

新商品のパターンコントロールミキサー

支援にあたって

支援者　滋賀県信用保証協会 経営支援部係長 小谷（こたに） 修平（しゅうへい）

滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、スムーズに事業承継計画の策定ができました。経営改善を目的に当協会の専門家派遣事業で派遣した専門家が引き続き事業承継計画策定の専門家となり、一貫性のあるアドバイスで実効性の高い支援ができたと思います。

事業承継の時期が明確となり、今後も経営改善に向けた取組みを進めていただけるよう引き続き伴走支援をしていきます。

滋賀県信用保証協会 経営支援部
係長 小谷 修平

信用保証協会からのメッセージ

当協会をご利用の事業者の方が事業承継や引継ぎをお考えの場合は、事業承継・引継ぎ支援センターをはじめ、各金融機関とも連携しながら支援させていただきます。その他にも経営改善などのご相談もお受けしています。

無料配布

事業承継をわかりやすくまとめた ミニガイド を発行しました！

このたび滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターでは、経営者のための事業承継ミニガイド「承継に10年かかるってホント?」を発行しました。

このミニガイドは、「誰に?」「何を?」「どのように?」バトンタッチすればいいのか、など難しく考えがちな事業承継についてわかりやすくまとめ、**承継の主な3つのケースをオリジナルマンガで解説**しています。

現在、事業承継を考えておられる方はもちろん、忙しくて後継ぎのことまで手が回らない方にもぜひ読んでいただきたいガイドブックです。

経営者のための事業承継ミニガイド
「承継に10年かかるってホント?」をご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、右記QRコードを読み取り、ホームページのお申込みフォームより送付先を入力の上、送信ください。または、下記電話番号までお申込みください。

ミニガイド
お申込みフォーム

お問合せ

滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター
〒520-0806 大津市打出浜 2-1 コラボしが21 9階
TEL.077-511-1505

オリジナル動画
お互いを想う
父娘篇 YouTube
ここからチェック！

商工会は 行きます！ 聞きます！ 提案します！

事業者のみなさまに寄り添って「どうすればいいの？」にお答えします！

令和４年度経営指導実績７万４百件！商工会では、金融・税務・労働・取引・経理・情報化・その他経営上のあらゆる悩みについて、きめ細かく相談に応じています。

ご相談はお近くの商工会まで 商工会は、経営支援事業を通じて事業者の明日に貢献します。

瀬田商工会	077-545-2137	甲賀市商工会	0748-62-1676	愛荘町商工会	0749-42-2719	米原市商工会	0749-52-0632
大津北商工会	077-572-0425	安土町商工会	0748-46-2389	稲枝商工会	0749-43-2201	長浜市商工会	0749-78-2121
栗東市商工会	077-552-0661	日野町商工会	0748-52-0515	豊郷町商工会	0749-35-2022	高島市商工会	0740-32-1580
野洲市商工会	077-589-4880	竜王町商工会	0748-58-1081	甲良町商工会	0749-38-3530	滋賀県商工会連合会	077-511-1470
湖南市商工会	0748-72-0038	東近江市商工会	0749-45-5077	多賀町商工会	0749-48-1811		

商工会は、地域事業者が会員となって、ビジネスやまちづくりのために活動を行う総合経済団体です。「商工会法」に基づいて設立され、全国の市町村で約79万人の事業者（事業所の約58.2%）が加入しています。滋賀県には18の商工会があり、約１万４千人の会員事業所で組織されています。地域の事業者が売上や利益を増やせるよう、経営発達支援事業に取り組んでいます。

商品開発・販路開拓支援事例 ～米原市商工会～
「美味しい」を届ける、新たな挑戦を支援

J's style dining（ジェイズ スタイル ダイニング） 奥伊吹 Mamma 工房

〒521-0303 滋賀県米原市甲賀252 【TEL】090-9618-9330 【HP】https://www.js-style-dining.com/

代表 篠田（しのだ） 仁美（ひとみ）さん

●地域の農産物を、お洒落な商品に

伊吹山の麓、奥伊吹の古民家をリノベーションした工房を拠点に、「食」の商品開発やプロデュース事業を展開するJ's style dining。代表の篠田さんは、長浜市や大津市で自宅サロンを主宰し、料理や食空間コーディネートのレッスンを行うなど、実績を積み重ねた後、2020年（令和２年）に米原市に移住、新たな道を歩み始めました。

転機は2018年（平成30年）、50歳を機にイタリアへ短期留学し、郷土料理を学ぶ中でトマトソースのおいしさに感動、地元の農作物を活かした料理に魅了されました。そして帰国後、滋賀県産のトマトを使ったトマトソースの商品化をめざして試作を繰り返す一方、キッチン完備の工房も探し始めます。米原市は、定期的に料理イベントを開催していた地でもあり、自然豊かなこの地に工房を構えることに決めました。

洗練された空間が広がる工房

●出会い、つながり、新たな事業も

準備を進める中、篠田さんは知り合いから「商工会に入ったほうがいいよ」と紹介され、事務所を訪問。タイミングよく「女性の創業等支援助成金」の活用で準備資金を支援してもらうことができ、その後も持続化補助金などを利用して販売促進に必要な撮影、パッケージデザイン、オンラインショップなどの環境も整えました。

主力商品「金曜日のトマトソース」

商品は、トマトソースのほか、山椒やイチジクなど季節限定の素材を使ったもの、いちご、抹茶を使ったグラノーラなど積極的に開発。2022年には東京ビッグサイトで開催された「グルメ＆ダイニングスタイルショー」に出展、全国連主催の「bueyr's room2022」では審査員特別賞を受賞しました。

「商工会にお世話になり、出会いがつながっていく面白さを実感しています」。そう話す篠田さんのモットーは、「好きなことを楽しんでやる」こと。イタリアへの料理留学、奥伊吹への移住と古民家暮らし、すべてが「今の年齢だからこそできたこと」と振り返ります。近隣には高齢の住民も多いことから「地域の人がくつろげる場所を作り、美味しいものを提供したい」と、実現したいアイデアがあふれています。

大自然に抱かれた奥伊吹Mamma工房

支援担当職員の紹介

米原市商工会
担当：経営支援員 白井 桃子
米原市米原1016米原市役所２階

どんなことを、どんなふうに実現していきたいのか、篠田さんはご自身の希望や、目指す方向性をご相談の中で伝えてくださり、イメージを共有しながら、そのアイデアや商品開発の実現に向けて、最適なご提案を行い、支援を行っています。いつもバイタリティーにあふれる篠田さんの事業がスムーズに、そして楽しく進んでいくよう、これからもサポートしていきたいと思います。

選ばれる企業は、はじめてる SDGs をビジネスに

Sustainable Development Goals

身近な企業による取り組みやアイデアが、意外にもSDGsに関係していることをご存知ですか？ 環境や社会問題に目を向けることは、地域貢献となり、社会から信頼を得ることができるのはもちろん、新たなビジネスチャンスに繋がります。

Pick up!

＼はじめています／

1. 戦略・経営まで支援する事業コンサルティング
2. 経済的に持続可能な地域の価値づくり、ブランディング
3. 働きやすさを考えた会社環境・会社経営
4. 積極的なインターンの受け入れで地方の魅力を発信

3 すべての人に健康と福祉を　5 ジェンダー平等を実現しよう　8 働きがいも経済成長も　17 パートナーシップで目標を達成しよう

スターブライド株式会社

☎090-3687-4068
栗東市安養寺3-1-27 2F

ブランディングデザイン・マーケティング支援により、ビジネスの成長をサポートする企業。「地域ブランディング事業」にも力を入れ、官民のパートナーシップを強化して自治体と連携しながら地域の魅力づくり・地域活性化の実現に向け尽力する。

HP
Instagram

代表取締役
小林（こばやし） 一彦（かずひこ） 氏

企業や地域の強みを新たな価値へ 地域経済の活性化と持続を実現

クライアント企業の事業目的を明確にし、経営感覚をもって戦略部分から関わるマーケティングを得意とするスターブライド株式会社。〝経営者との伴走〟をコンセプトに、持続可能な経営と事業の成長を支援、サポートする。また地域ブランディング事業として、地方行政や自治体と共に地方創生や地域活性化に関わることも。例えば、多賀町の登録有形文化財を活用した古民家ホテルの事業支援として、実際の経営・運営・広報までを一貫して行った実績や、栗東市の観光開発に携わり、ブランディングを行った実績もある。

同社が携わる事業やそのマーケティング戦略に合わせたデザインを任されているのがアートディレクターの守内氏。ただデザインするだけでなく、ブランディングから関われる仕事にやりがいを感じているという。「オフィスにいるとリラックスできるんです」と微笑みながら話す様子からも、職場環境の働きやすさと仕事内容の充実がうかがえる。さらにインターンの受け入れも積極的に行う同社。代表取締役の小林氏は「就職先の最初の候補に、滋賀県が入っていないというのは本当にもったいない。ぜひ、地元企業を知る機会や場をつくってあげたい」と話してくれた。

企業が誇る商品の付加価値を高めるブランディングや、地域活性化に関わった実績が多数。気鋭のデザイナーによる洗練されたデザイン・クリエイティブ制作が、商品の魅力をより向上させる。

彦根市出身であり東京でデザイン経験を積んだ代表取締役の小林氏と、和歌山県出身のアートディレクター守内氏。“外の目”を強みに、地元では気付けない町の魅力を創出してくれる。